

透析低血圧

透析中に収縮期血圧 20 mmHg以上、または症状を伴って平均血圧が10 mmHg以上、急激に低下すること

- 血圧変動が頻繁に生じると除水が困難になる

透析低血圧の要因

- 低すぎるドライウエイト
- 体重増加が多く透析による除水量が大きい
- 低アルブミン血症
- 栄養障害
- 貧血
- 糖尿病患者における低血糖
- 心機能低下（透析開始直後や除水操作によって血圧が容易に低下）
- 自律神経機能障害（糖尿病患者で顕著）
- 透析液温度が高い
- 透析中の食事摂取
- 薬剤・透析膜・E O G・アセテート透析液に対するアレルギー反応

除水やドライウエイト以外の血圧低下の原因

CKD・透析関連領域ガイドライン p.194より

透析開始直後	透析液関連	濃度異常（低濃度透析）
		温度異常（高温透析）
		酢酸不耐症
	ダイアライザ関連	ダイアライザからの溶出物
		E O G アレルギー
		生体適合性不良
	血液回路関連	空気誤入
		出血
		ナファモスタット大量注入
透析中期	血糖の低下	
	心機能障害、不整脈	
透析後期	ドライウエイト設定の問題	
	除水設定の問題	
透析終了後	起立性低血圧	